若者や子どもを取り巻く社会環境の変化

〇 結婚

結婚を希望しても出会いがない

〇 子育て

まわりに相談できる人がいない 1人で育児を抱え込む

○ 待機児童 子どもを預けて働きたいのに預けられない

○ 子どもの貧困 将来の夢が描けない

○ 児童虐待 子どもの心と体に深い傷が残る



県民一人ひとりが子どもや子育てについて考え、 これを社会全体で支えていくことは喫緊の課題

施策のキーワード

ヨコで「つながる」

(民間団体、企業、市町村、県の強固な連携)

皆で「ささえる」

(多様な主体による支援)

子どもを「まもる」

(子どもが安心して育つ環境の確保)

| 柱の I | ステージに応じた切れ目のない支援

① ふくしま結婚・子育て応援センターを中心に、 結婚を希望する県民の方を応援します。

2 妊娠から子育てまでの切れ目ない支援

- ① 子育て世代包括支援センターの設置に 取り組む市町村を支援します。
- ② お母さんの健康を守るため、 妊産婦支援の充実に取り組む市町村を 支援します。
- ③ 子育て家庭の経済的負担の軽減に取り組みます。

3 子どもや子育てを皆で支え合う意識の醸成

- ① 社会全体で子どもの問題を考え、 子育てを支え合う大切さを広めていきます。
- ② 県内企業や市町村など様々な団体と連携して 結婚応援子育て支援に取り組みます。
- ◆ 結婚・子育て応援センターでのマッチング件数について、32 年度末までに累計で2000件を目指します。
- ◆ 子育て世代包括支援センターについて、平成31年度末まで に全市町村での設置を目指します。

柱のⅡ 保育所等待機児童の解消

1 保育所等の整備

- ① 保育所や認定こども園の施設整備を進めます。
- ② 放課後児童クラブの施設整備を進めます。

2 多様な保育環境の提供

- ① O歳児から2歳児を対象とした 「小規模保育所」の設置に取り組む事業者を 支援します。
- ② 3歳以上の子どもを対象として、 幼稚園との連携を図ります。
- ③ 企業や事業所での保育施設の整備促進を図ります。

3 保育人材の確保・定着

- ① 保育士になりたい人を応援します。
- ② 保育士の処遇改善に取り組みます。
- ③ 保育士の勤務環境の改善や心のケアに取り組みます。
- ◆ 保育所等待機児童数について、平成31年度末までに解消 を目指します。

柱のⅢ 支援が必要なこどもへの対応

1 周りの支えが必要な子どもの支援

- ① 子どもに関わる様々な機関が連携し、 子どもの貧困に取り組みます。
- ② 支援が必要な子どもを確実に支える セーフティネットの確保に取り組みます。

2 子どもの自立支援

① 施設などから巣立つ子どもの夢実現を 支援します。

3 若者のひきこもり対策

ひきこもりについての相談の場や、
ひきこもりの若者が集える場づくりに
取り組みます。

- ◆ 児童養護施設等を巣立つ子どもの大学等進学率について、 25%以上を目指します。
- ◆ 子どもの居場所について、増加を目指します。

子育てしやすいふくしま 子どもを守り、育むふくしま